

「数学専門領域」案内

1. 数学専門領域の目標

数学の専門知識と数学的な論理的思考力をもった小・中学校の教員養成を主な目的としている。

2. 数学専門領域へ進むための手順

専門領域振分けの際に、数学専門領域を希望する学生数が上限数を超えた場合には、春学期の成績（GPAの数値等）を利用して合格者を決定する。また、希望者数によっては試験を課すこともある（過去には、数学の試験（高校の数学I,A,II,B）や小論文試験、面接等を課したことがある）。

3. 数学専門領域の履修に関する注意

数学専門領域の履修に関しては、入学時に配られた「履修手引 2021」の通りとする。数学専門領域に属した場合、他教科の教員免許を取得することはかなり厳しいので、中学校・高等学校の教員免許は「数学のみ」を取得するよう心がけてもらいたい。また、授業の履修、単位の修得をしっかりとしてほしい。

4. 数学専門領域の学生の就職状況

教員志望の学生の教員就職率は、非常勤を含めれば高い状況である。神奈川県内を中心に、数学専門領域を卒業した方々が活躍している。

（注）数学専門領域としては、「確固たる教員志望の志のある学生のみ」を選抜したいと考えている。それゆえ、教員になりたくないと思っている学生や、教員になろうという意思が薄弱な学生は志望しないでもらいたい。

過去5年間の卒業後の進路

	卒業生数	小学校教員	中学校教員	高等学校教員	臨採・非常勤	大学院進学	その他
平成28年度	25	6	3	3	4	4	5
平成29年度	23	6	5	3	1	3	6
平成30年度	23	7	1	1	2	4	8
令和元年度	25	3	5	2	1	8	6
令和2年度	28	9	4	3	1	2	9

（注1）小学校，中学校，高等学校教員には，当該年度に「正規採用」であった方の人数を示した。臨時採用（1年間等の期限有の教員）や非常勤講師には，教員の仕事をしながら，次年度に「正規採用」を目指している方の人数を示した。なお，横浜市中・高および私立中高一貫校教員は中学校教員とした。

（注2）大学院進学は本学教育学研究科の教育実践専攻及び高度教職実践専攻（教職大学院），本学環境情報学府，他大学大学院進学者の合計である。

（注3）その他は，公務員または民間会社等に就職した方の人数（未定者も含む）を示した。

教員一覧

池田 敏和	教授	数学教育学
両角 達男	教授	数学教育学
山本 光	教授	統計教育, ICT 活用(プログラミング), 離散数学
茨木 貴徳	教授	非線形関数解析学, 凸解析学
山形 紗恵子	准教授	幾何学的群論

数学専門領域の教員から

池田 敏和 (教育学部第2研究棟 506)

子どもが何を疑問に思うのか, そんな子どもの心の理解こそ, 教育では大切です。そこに寄り添う中で次の一步が見えてきます。専門は算数・数学教育です。

両角 達男 (教育学部第2研究棟 504)

算数や数学の授業における先生や子どもの動きをつぶさにみつめ, 「私が授業者だったら」と考えたり, 「あなたはどうか動く」と議論したりすることが大切です。

山本 光 (教育学部第2研究棟 502)

未知の事を知ったり, 物事を順序立て考えたりすることは, 人間が持つ楽しみの一つなのです。一緒に楽しみながら学び, その楽しさを子供たちに伝えていきましょう。

茨木 貴徳 (教育学部第2研究棟 501)

数学は好きですか? 好きこそ物の上手なれ。勉強は大変ですが, せっかくなら少しでも好きなどころを見つけてください。一緒に楽しんで数学を学んでいきましょう。

山形 紗恵子 (教育学部第2研究棟 503)

研究対象である「群」の「代数」的な性質を, 「幾何」を用いて明らかにするという, 代数と幾何がつながりあうところに魅力を感じて研究をしています。